

# キリンの「テビチ」死ぬ

## 沖縄生まれ横浜育ち

### 人間の60歳相当、人気博す

横浜市立野毛山動物園(横浜市西区)は25日までに、飼育していた沖縄生まれのアミメキリンの雄「テビチ」が死んだと発表した。人間の60歳前後に相当する15歳だった。子ども達の「そら」(2歳、雄)と仲むつまじく歩く姿が、子どもたちに人気だった。



同園によると21日朝、飼育舎で倒れているのを飼育員が見つけ、治療したが死んだ。頭部に出血痕があったため、夜間に転倒して頭を打ったのが死因とみられている。

アミメキリンは網の目のような模様で知られ、

サハラ砂漠以南の 아프리카 中東部で生息。1997年に沖縄市の動物園「沖縄こどもの国」で生まれた。沖縄料理の「テビチ(豚足)」にちなみ名付けられたとされ、98年に野毛山動物園にやって来た。



死んだアミメキリンの「テビチ」(横浜市立野毛山動物園提供)